

## 研修カリキュラム

| 研修分野                    | 障害児保育   | 提案者名  | 株式会社保育のデザイン研究所 |     |                          |                       |                     |
|-------------------------|---|---|----------------|-----|--------------------------|-----------------------|---------------------|
| ねらい                     | 障害児保育に関する理解を深め、適切な障害児保育を計画し、個々の子どもの発達に応じた障害児保育を行う力を養い、他お保育士等に障害児保育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。   |   |                |     |                          |                       |                     |
| 研修区分                    | 具体的な研修内容  | 国のガイドラインにおける該当内容  | 研修時間           | 講師  | 研修形態                     | 使用教材                  |                     |
|                         |   |   | 研修テーマ全体の時間数    |     |                          |                       |                     |
| 障害とその支援に関する理解           | 障害とはなにか。共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育、特別支援教育について、丁寧に解説している。自園の子どもたちを、共生社会の担い手として育てるために、保育者は何をなすべきか、ワークを通して具体的に考える。   | ・障害の理解  | 2時09分29秒       | 現職名 | 国立特別支援教育総合研究所<br>上席総括研究員 | 講義、演習<br>(eラーニング)+報告書 | 講師作成オリジナル教材<br>(別添) |
|                         |   |   |                | 氏名  |                          |                       |                     |
| 気になる子どもの視点から保育を見直す      | 気になる子どもへの特別な支援は、一見専門的で難しいのではないかと感じさせる。しかし、一人ひとりの子どもに合ったかわり方を考えていくことは、保育そのもの。具体的な事例を通して、様々なニーズのある子どもへの理解を深めると共に、全ての子どもに対する保育の在り方を見直し、考えるきっかけとなる講座。 | ・障害の理解<br>・障害児保育の環境   | 3時14分14秒       | 現職名 | 国立特別支援教育総合研究所上<br>席総括研究員 | 講義、演習<br>(eラーニング)+報告書 | 講師作成オリジナル教材         |
|                         |   |   |                | 氏名  |                          |                       |                     |
| 障害児の発達の援助               | 特別な支援を必要とするお子さんの保育や、保護者との接し方等について、保育者であった講師の体験を事例にあげ、丁寧に解説しています。  | 子ども一人一人の特性を理解した関わり<br>・友達に手を出してしまう子<br>・人との関わりに課題のある子<br>・こだわりの強い子<br>・保育者間の連携<br>・保護者との連携<br>・環境や教材の工夫 | 2時52分33秒       | 現職名 | 八戸学院大学短期大学部<br>准教授       | 講義、演習<br>(eラーニング)+報告書 | 講師作成オリジナル教材         |
|                         |   |   |                | 氏名  |                          |                       |                     |
| 障害児保育の指導計画、記録及び評価       | 障害や発達上の課題のある子どもが、他の子ども達と共に育っていくための指導計画の立案から実践、評価までの流れや留意するポイント等を学ぶ。   | ・障害児保育の指導計画、<br>記録及び評価  | 2時33分14秒       | 現職名 | 仙台白百合女子大学<br>教授          | 講義、演習<br>(eラーニング)+報告書 | 講師作成オリジナル教材         |
|                         |   |   |                | 氏名  |                          |                       |                     |
| 気になる子どもの保護者への支援・保護者との協働 | 保育者は、施設での子どもの状態を話したい。保護者は自分のおもいを話したい。故に、両者の中で、ずれが生じることも多い。保護者の手記や事例を通して、「気になる子どもの保護者のおもいや歴史」を踏まえた保護者支援や協働について考える。                                 | ・気になる子どもを取り巻くつながり<br>・親子の歴史を見守る母子保健の役割<br>・気になる子どもの保護者のおもいを想像する<br>・保護者の歴史から学ぶ、そして、協働する                 | 3時14分08秒       | 現職名 | 国立特別支援教育総合研究所<br>上席総括研究員 | 講義、演習<br>(eラーニング)+報告書 | 講師作成オリジナル教材         |
|                         |   |   |                | 氏名  |                          |                       |                     |
| 関係機関との連携                | 障害のある子どもが他の子どもたちと共に育っていくためには、保育者のインクルーシブなマインドと保護者・専門機関との連携が重要であることを学び、ワークを通し、自園の課題を明確にし、その解決の手立てを探っていく。   | ・障害児保育に関する理解を深め、保護者や関係諸機関との連携を密にする<br>・障害児保育と日々の保育の関係<br>・保護者や関係諸機関との連携                                 | 1時04分27秒       | 現職名 | 玉川大学<br>教授               | 講義、演習<br>(eラーニング)+報告書 | 講師作成オリジナル教材         |
|                         |   |   |                | 氏名  |                          |                       |                     |
|                         |   |   | 15時08分05秒      |     |                          |                       |                     |